

許容損失値等の計算方法

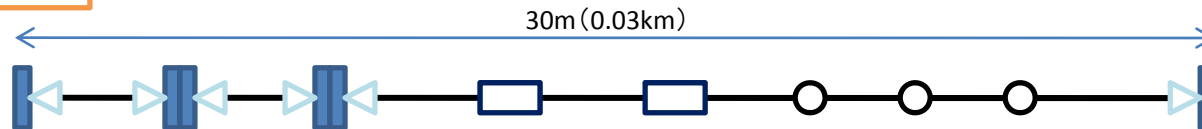
$$X[\text{dB}] = 0.3N_s + 0.3N_m + 0.3N_{ic} + 0.75N_c + 0.3L$$

N_s : 融着点数(個)、 N_m : メカスプ点数(個)、 N_{ic} : 現場付けコネクタ点数(個)

N_c : コネクタ接続ペア数(個)、 L : 距離(km)

- ①コネクタ接続ペア数は、アダプタ(J/J)の数である。ただし、測定始端と終端のアダプタ(TO-8)は含めない。また、TO-7でループする場合は、そのアダプタは含める。
- ②距離は、競技開始時のケーブル長である。また、パッチコード等は含めない。つまり、
光ケーブル: 5m、10m、15m、インドアケーブル: 5m の4種類しか存在しない。
- ③四捨五入による小数点第2位までの表記とする。

計算例



この場合、 $N_s=3$ 、 $N_m=2$ 、 $N_{ic}=6$ 、 $N_c=2$ 、 $L=0.03$ となり、

$$\begin{aligned} X[\text{dB}] &= 0.3 \times 3 + 0.3 \times 2 + 0.3 \times 6 + 0.75 \times 2 + 0.3 \times 0.03 \\ &= 0.9 + 0.6 + 1.8 + 1.5 + 0.09 \\ &= 4.89 \end{aligned}$$

従って、

$$\text{しきい値} = 4.89 \times 0.8 = 3.91[\text{dB}] \quad \text{許容損失値} = 4.89 \times 0.5 = 2.45[\text{dB}]$$

となる。

※採点時の競技委員による測定法は3ジャンパ法とするが、選手の測定法は問わない。